

(様式1-表)

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	125	豊田市立 旭中学校	代表	近藤 宣広
------	-----	-----------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	郷土を見つめ、郷土に学び、自らの生き方を求める生徒の育成をめざして サブテーマ 地域の人・もの・こととの関わりをとおして	分野	b	地域連携
学校づくりの視点へねらい	1 学年ごとにテーマを設定し、生徒一人一人が個人の課題を追究していく活動「学びの時間」（総合的な学習の時間）に取り組み、情報・環境・福祉等の諸課題について、地域の人・自然・文化・産業との関わりを通して学習をすることにより、自ら学び考える力、自己の生き方を求める力を育成する。 2 地域の福祉施設や保育施設への訪問、交流を通して社会性を高め、世代間、地域間を越えた人との交わりから、人を思いやる心と協調性を高める。 3 地域の施設・名所などへの訪問や体験活動及び地域講師による講話や学習を通じて、地域の特徴を理解するとともに、地域の魅力を再発見できる機会とする。 4 校内整備員には、校内整備の一環として校内周辺の森林の整備や助言等をいただくことで、生徒の学びの時間の一助とする。 5 上記1～4の活動を通して地域から学んだこと及び学習の成果を、随時地域へ発信することで、より深い学びのステップとともに、地域の方々への感謝の気持ちを高める。	i(その他)は分野を右欄に記入		
活動内容・計画	1 学びの時間 4月………オリエンテーション 6月～10月… 体験学習・課題追究 10月………追究のまとめ 11月………発表会（文化祭など） 2月……… 活動記録のまとめ 2 福祉施設・保育施設・地域施設等訪問 6月～10月… 事業所、名所等訪問 7月………福祉施設「ぬくもりの里」訪問 8月………各施設でのボランティア活動 11月………あさひまつりのボランティア活動 11月………杉本こども園訪問			
補助員配置	校内整備員			
実績・期待される効果	・生徒の興味関心が高い分野で、自らの課題を追究する活動により、学びに対する個々の潜在的な能力を引き出し、主体的に学習に取り組む態度を育てることができる。 ・様々な職業観や現場で働く人の生き様に触れることにより、生徒が自分の将来の職業について深く考えたり、人生設計の指針としたりすることができる。 ・地域のひと・もの・ことに触れることで、自分が地域の一員であるという所属感を高めるとともに、郷土を愛し、将来は故郷の文化を継承していく一人になろうという意識を高めることができる。 ・地域の協力を得ながらの「地域の人から学ぶ、地域で体験する、地域へ提案する」等の活動により、地域との関わりを深めるとともに、学校の教育活動への理解へとつなげることができる。 ・お年寄りや幼児との交流を通して、思いやりの心、奉仕の精神を育てることができる。 ・校内周辺の森林の整備等の支援により、林業に関する知識や技能の修得ができる。			
検証方法	・保護者、訪問先の方々を招待してまとめの発表会を開催し、評価を受ける。 ・活動の様子を、年間を通して学校ホームページに掲載し、保護者や地域の方に情報するとともに、保護者アンケートの「特色ある学校づくり」等の項目で評価を受ける。			